

For Discussion Purpose Only

# デジタル田園都市国家構想における 地域幸福度（Well-Being）指標について

2023年7月27日

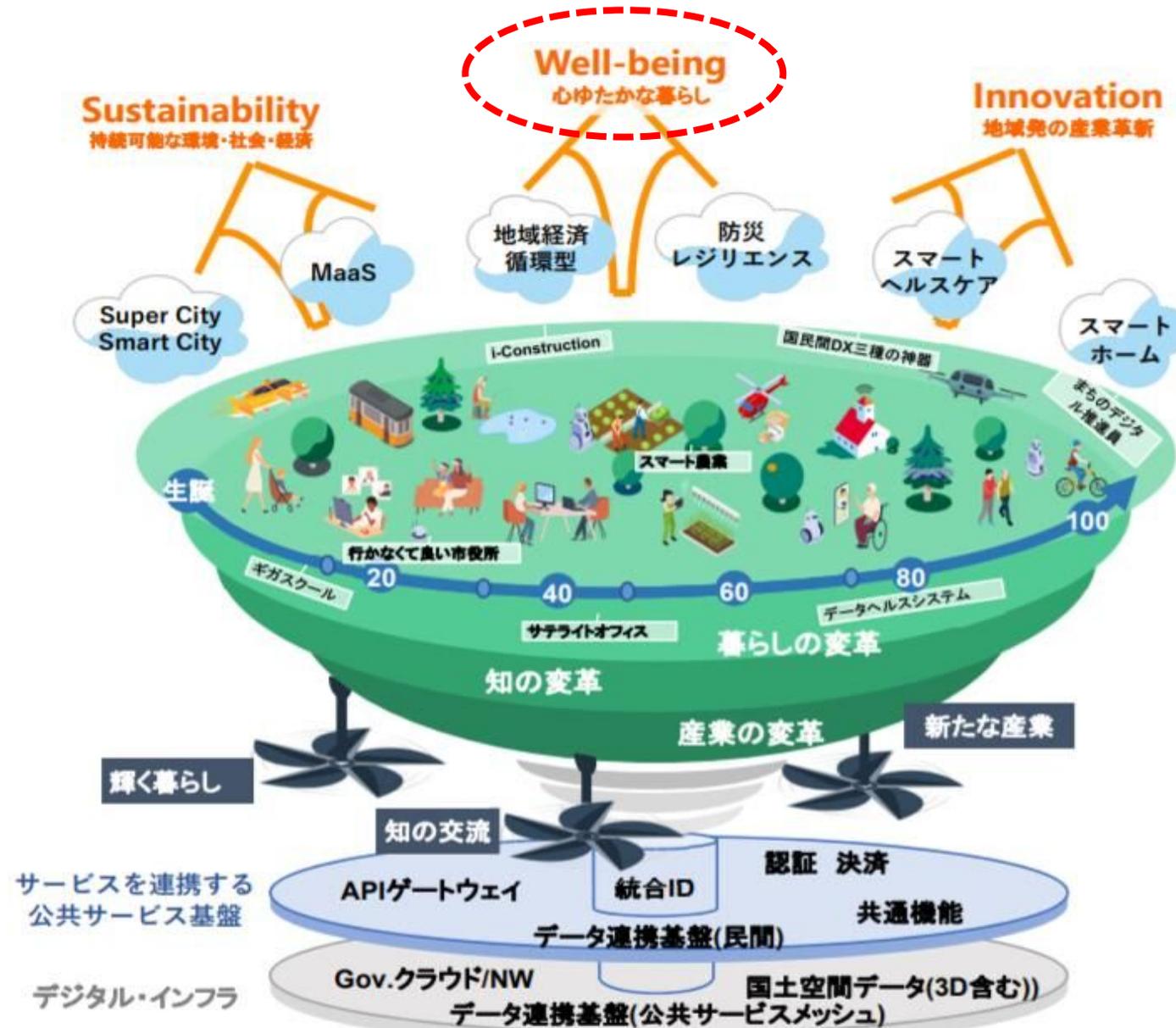
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事 南雲岳彦



Smart City  
Institute Japan

# Well-Being (心の豊かな暮らし) は、デジ田園都市国家構想の3本柱の一つ

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital\\_denen/dai2/siryou2-1.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai2/siryou2-1.pdf)



# スマートシティでどのように「市民の幸福感」を高めることができるか？

人・社会のレイヤー



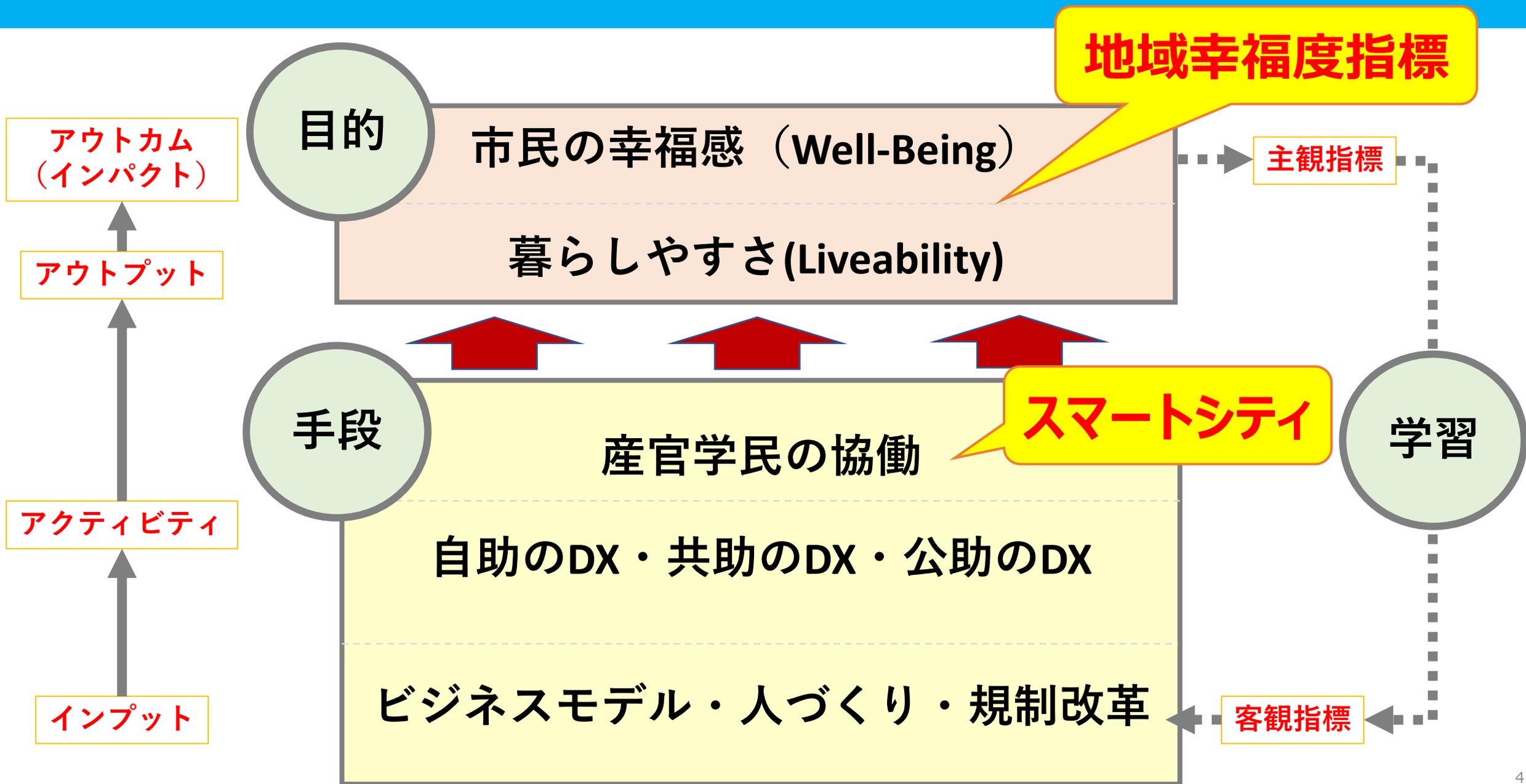
デジタルのレイヤー



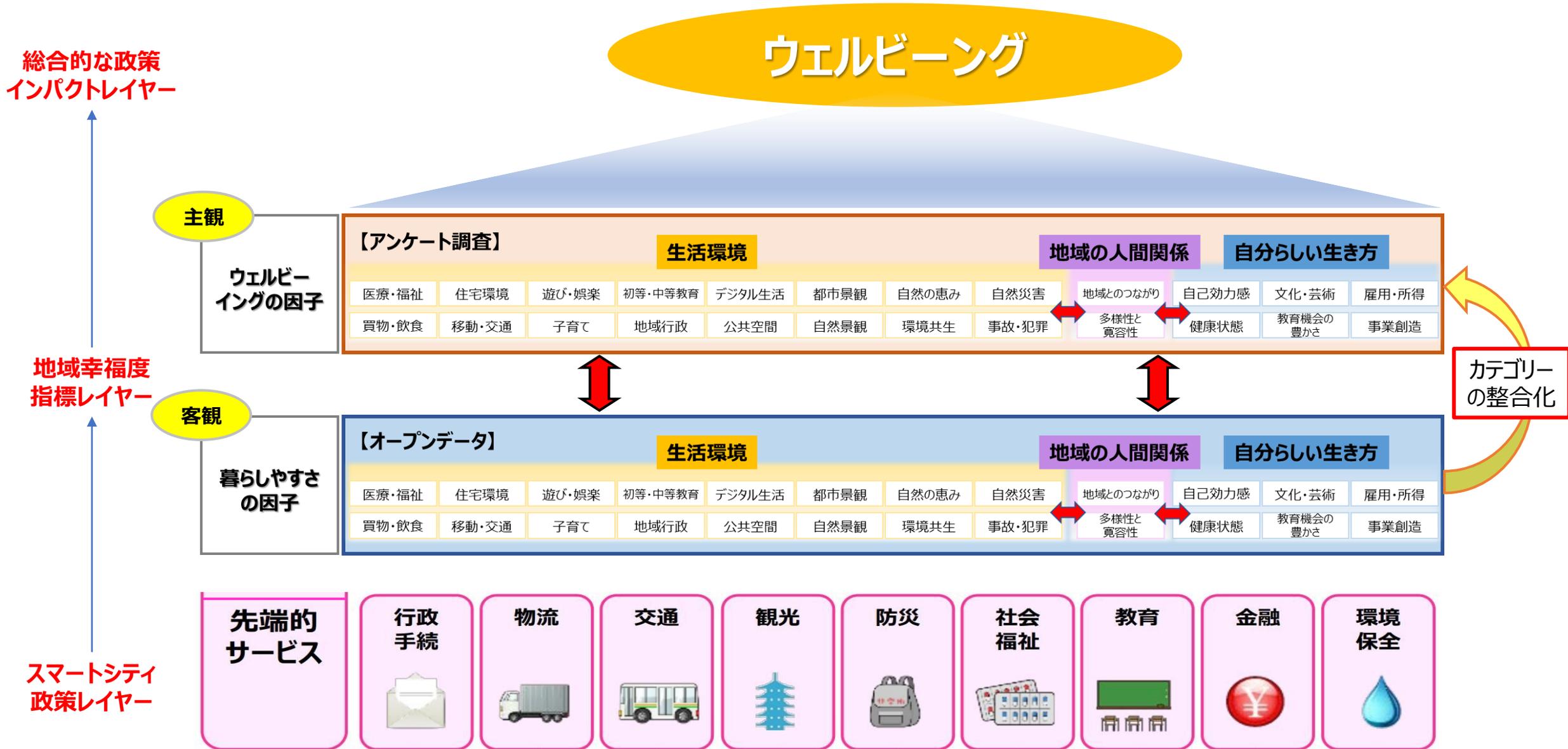
自然資本のレイヤー



# 地域幸福度指標を活用したスマートシティのロジックモデル



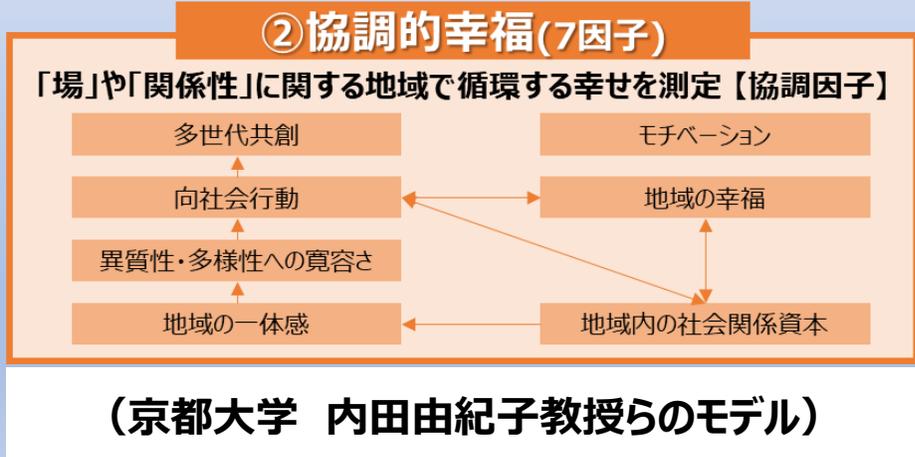
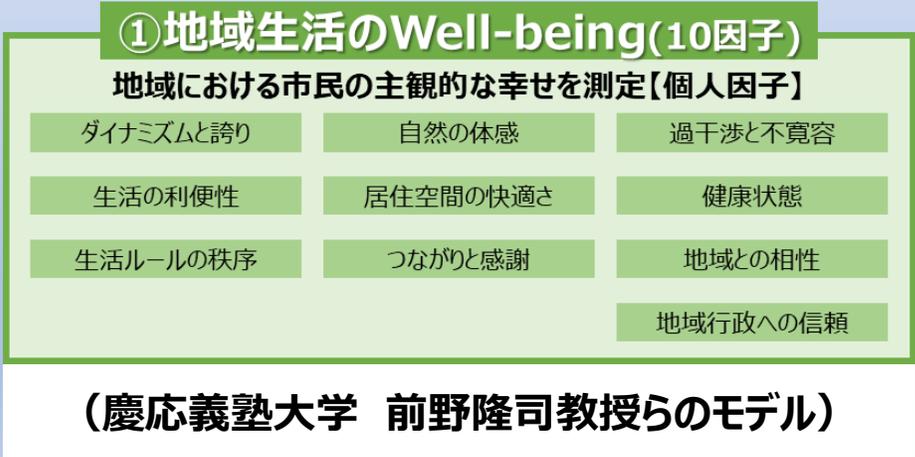
# 地域幸福度指標モデルの全体構成図 ~ 政策と主観・客観指標の関係



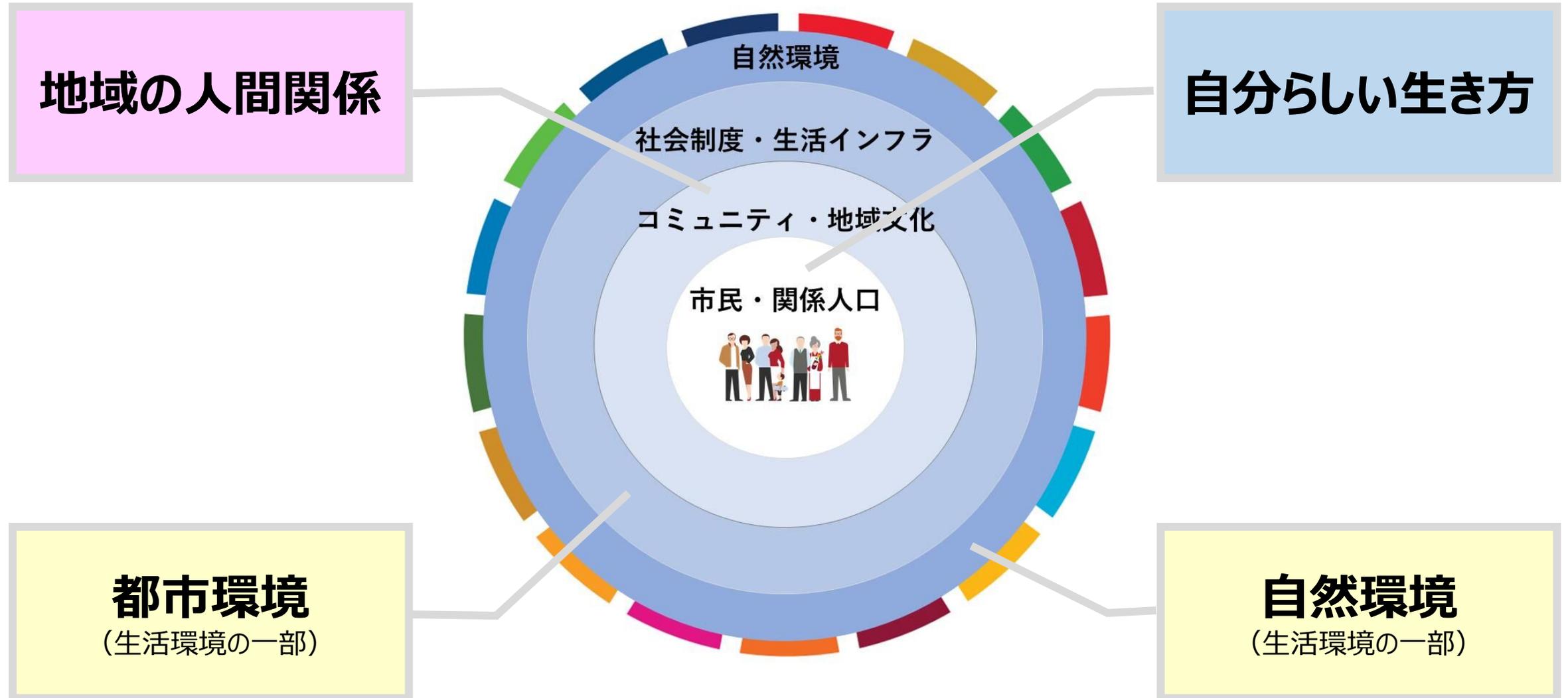
# 主観的幸福感のアンケートは、慶応大前野教授 + 京大内田教授 + SCIJで構成

総合的な政策  
インパクトレイヤー

## ウェルビーイング



# 地域幸福度指標では、地域のウェルビーイングを「マルチレベル」で把握していく



# 地域幸福度指標の概念と導入目的

- スマートティ・まちづくりにおける「人間中心主義」を明確化
- 市民の視点から「暮らしやすさ・幸福感」を数値化・可視化
- ランキングではなく、自治体が「個性を磨く」機会を創出
- WHO等の国際的な枠組みを導入
- 客観と主観データの両方を活用。無料でオープン化
- まちづくりのEBPM・ワイススペンディングに役立てる

# SCIJのホームページから地域幸福度（Well-Being）指標ダッシュボードへ



法人概要

エグゼクティブ  
アドバイザー

会員一覧

イベント・報告

入会案内  
問い合わせ

ENGLISH

会員サイト  
ログイン

## 地域幸福度（Well-Being）指標 （Liveable Well-Being City指標®）

ダッシュボード

データダウンロード

アンケート設問票

🔗 お問合せはこちら



地域幸福度（Well-Being）指標とは



利活用ガイドブック



ダッシュボード



データダウンロード



アンケート設問票



## 地域幸福度(Well-Being)指標 ダッシュボード (市区町村版)

※閲覧したい項目をクリック

総合(幸福度・満足度)

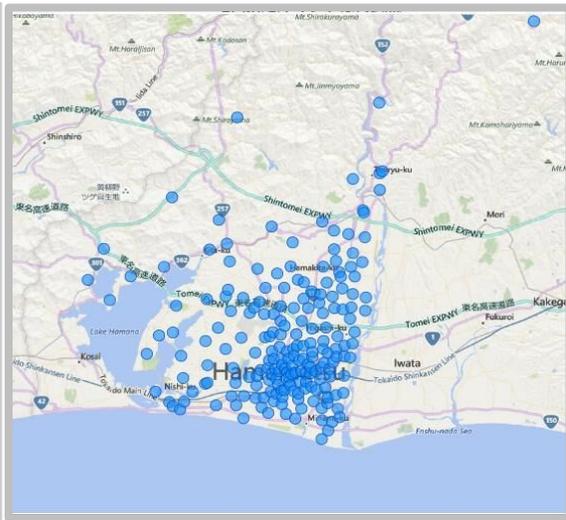
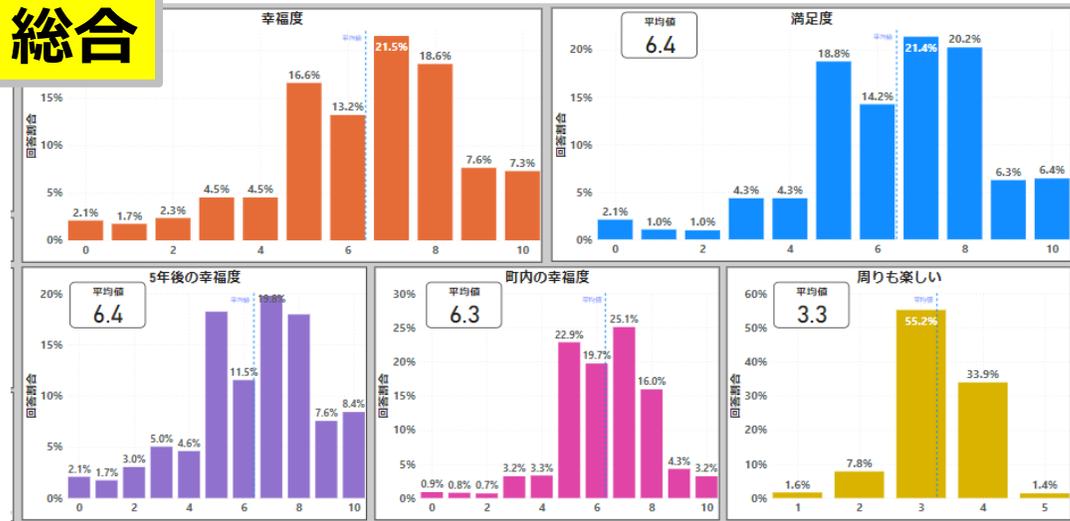
因子別

主観詳細

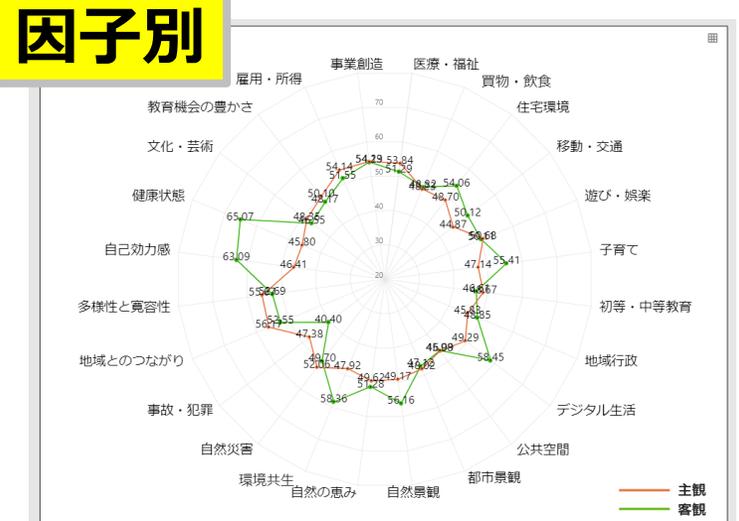
客観詳細

# ダッシュボード全体像 ~ 4つの画面が用意されている

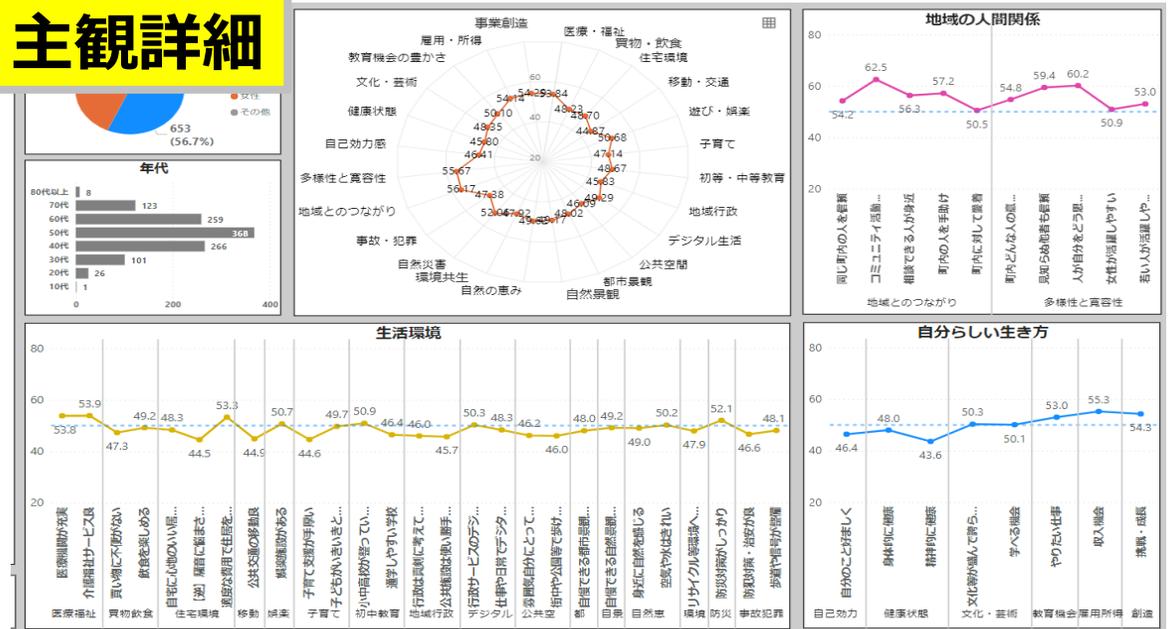
## 総合



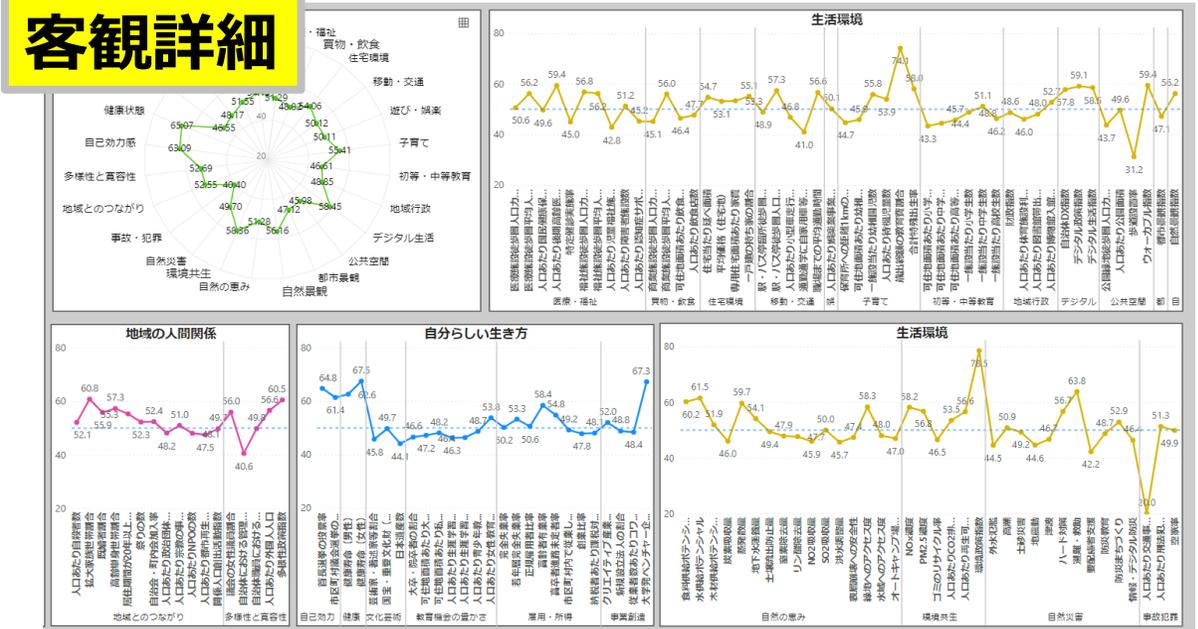
## 因子別



## 主観詳細

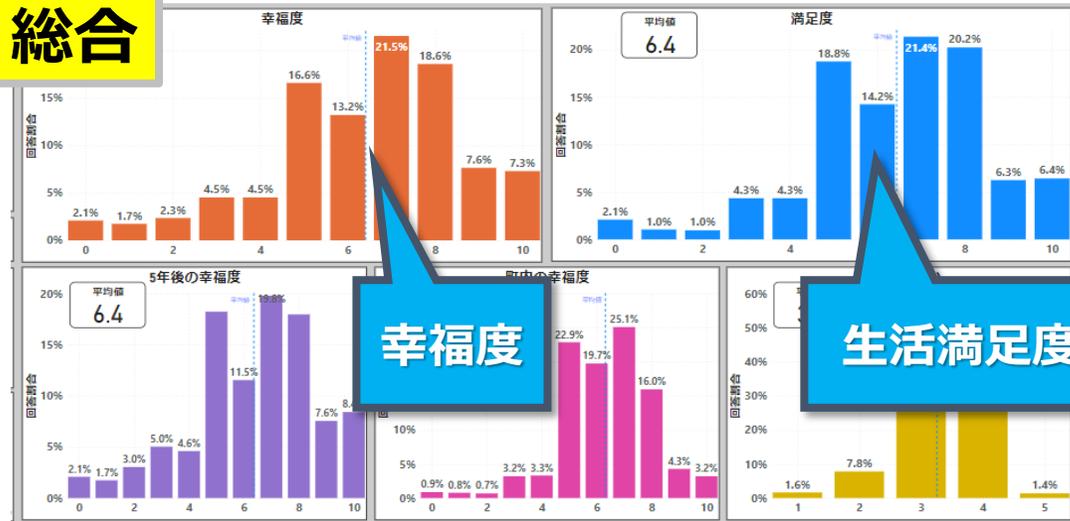


## 客観詳細

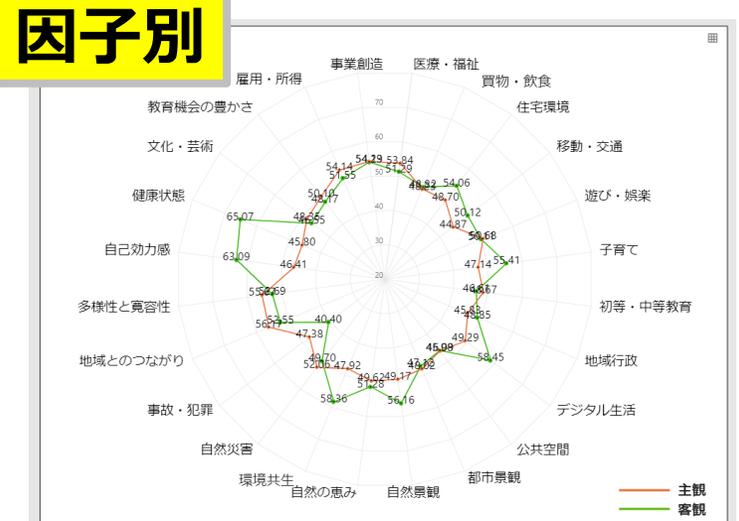


# ダッシュボード全体像 ~ 4つの画面が用意されている

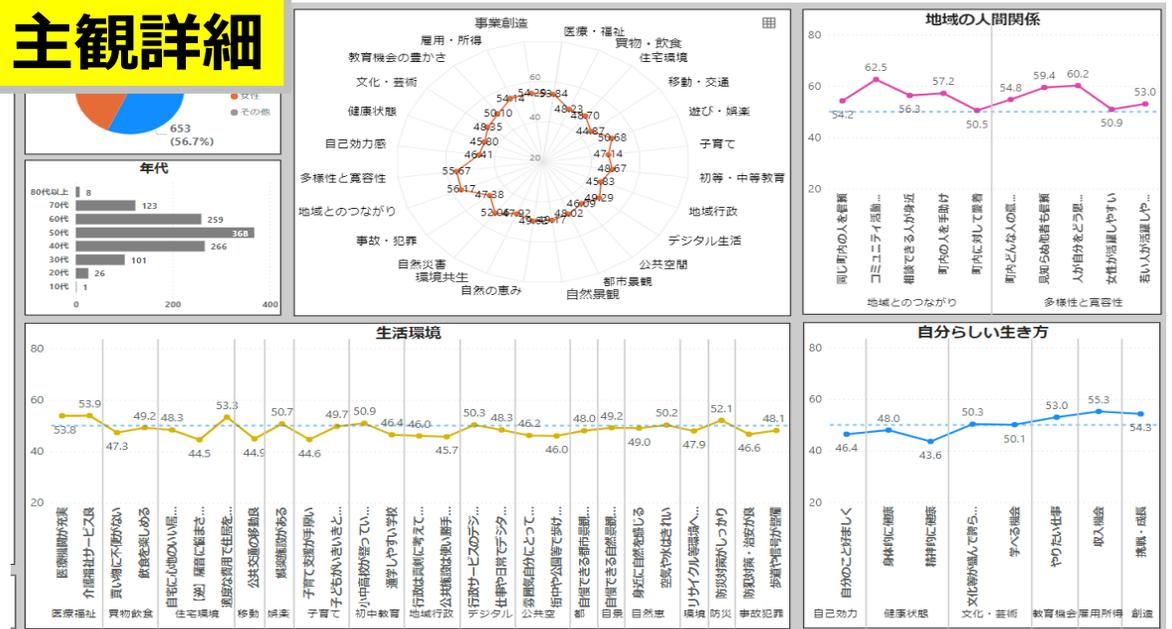
## 総合



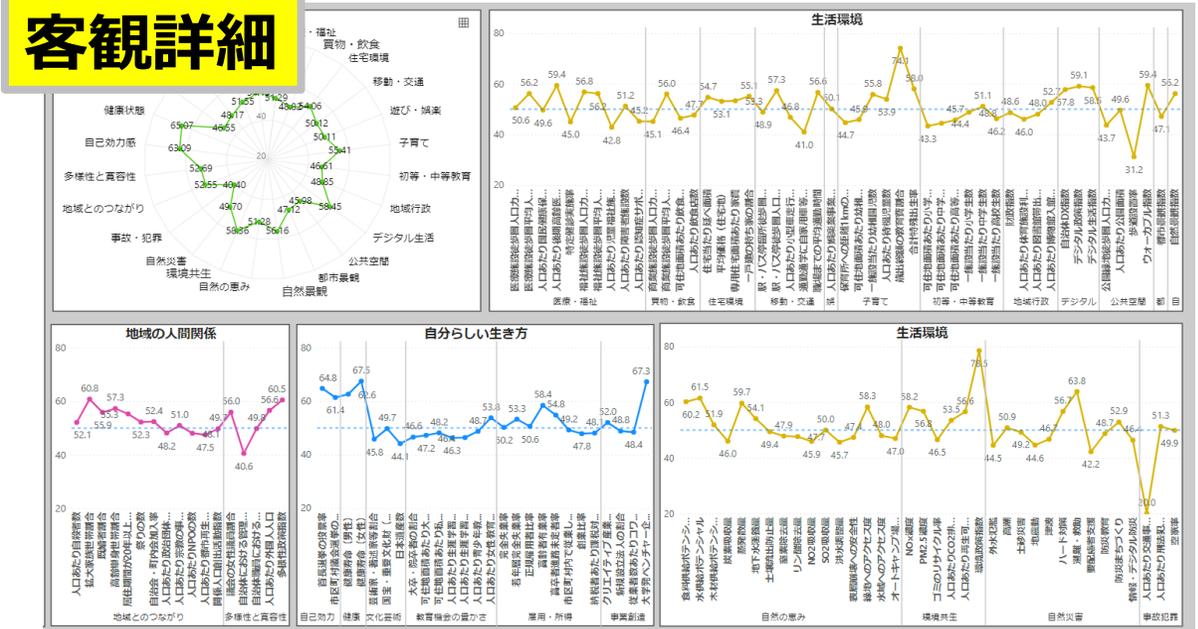
## 因子別



## 主観詳細

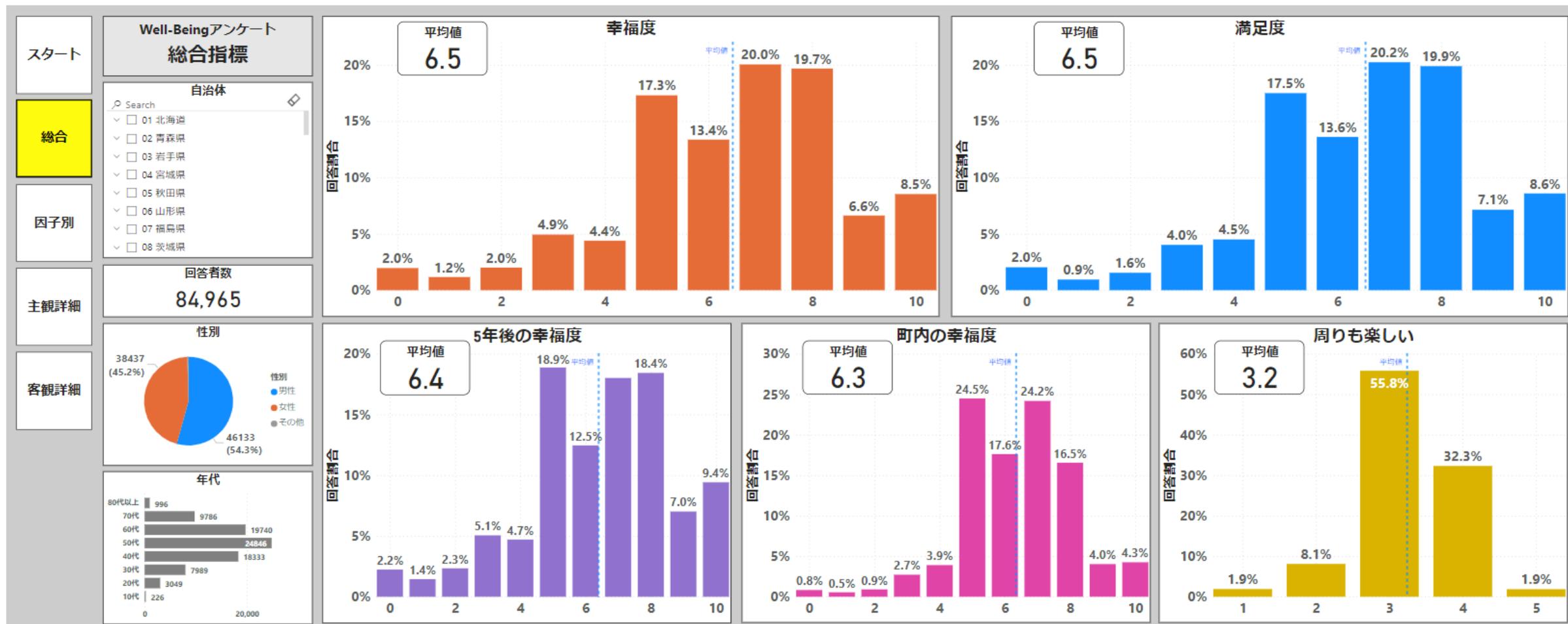


## 客観詳細



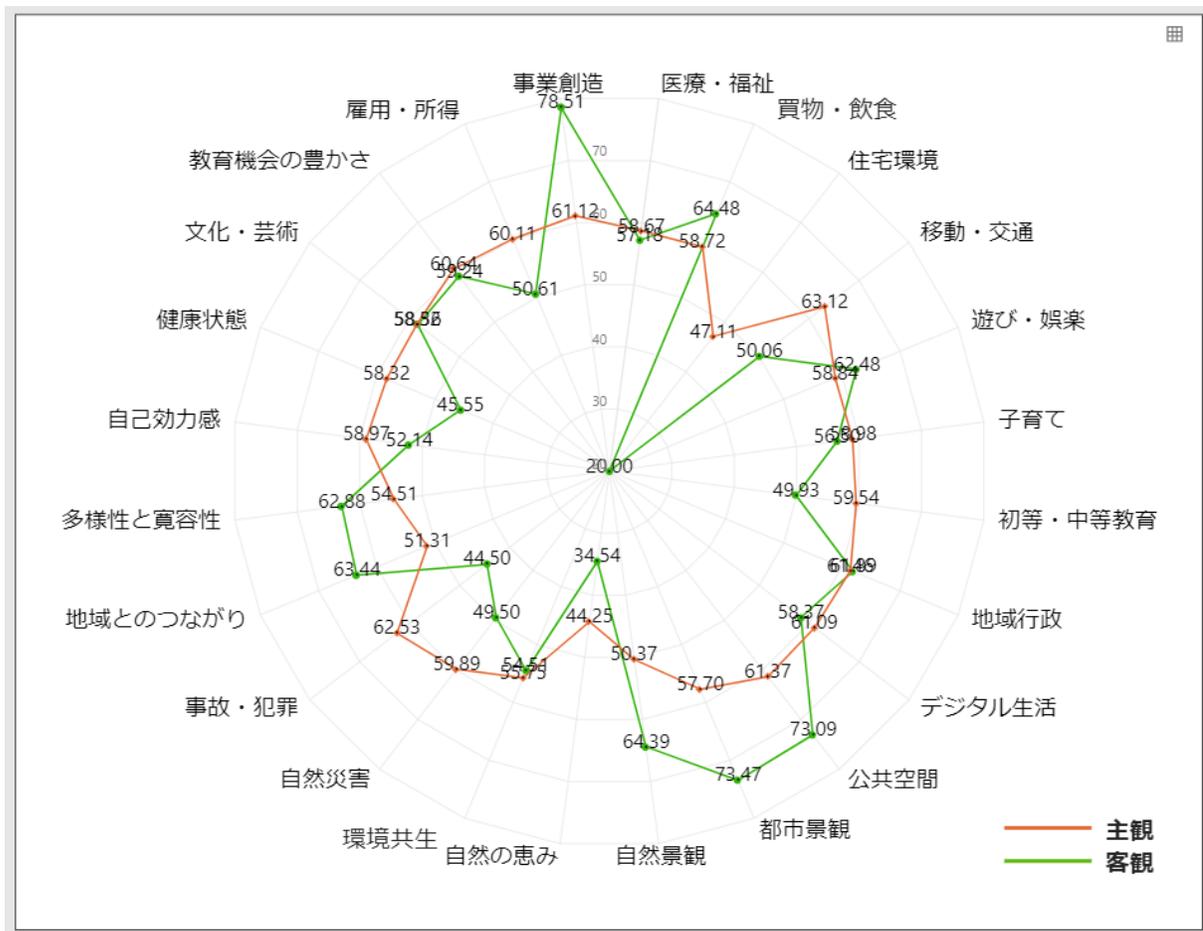


# 「総合指標」のダッシュボード画面 ～ 日本全体の例

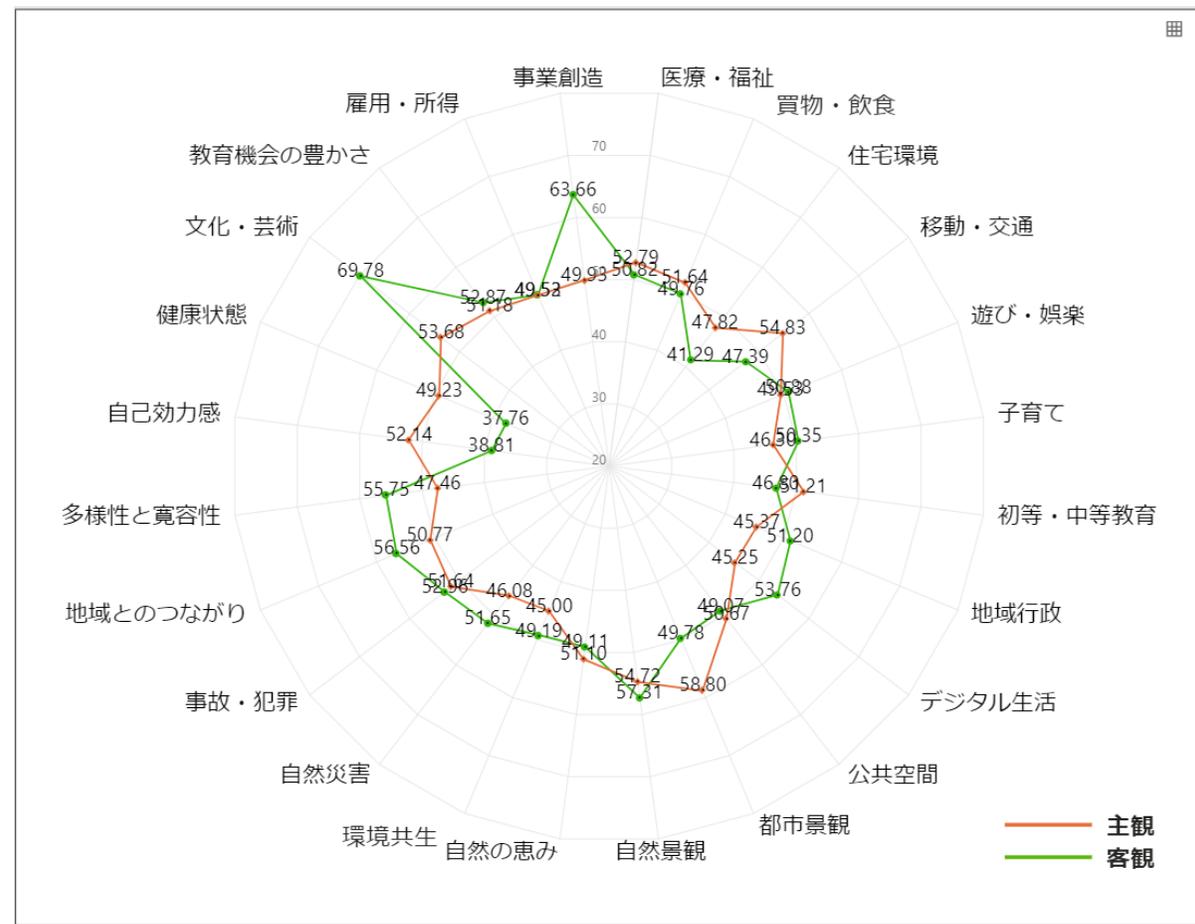


# 「因子別」のダッシュボード画面 ～ 地域による個性がわかる

## 東京都

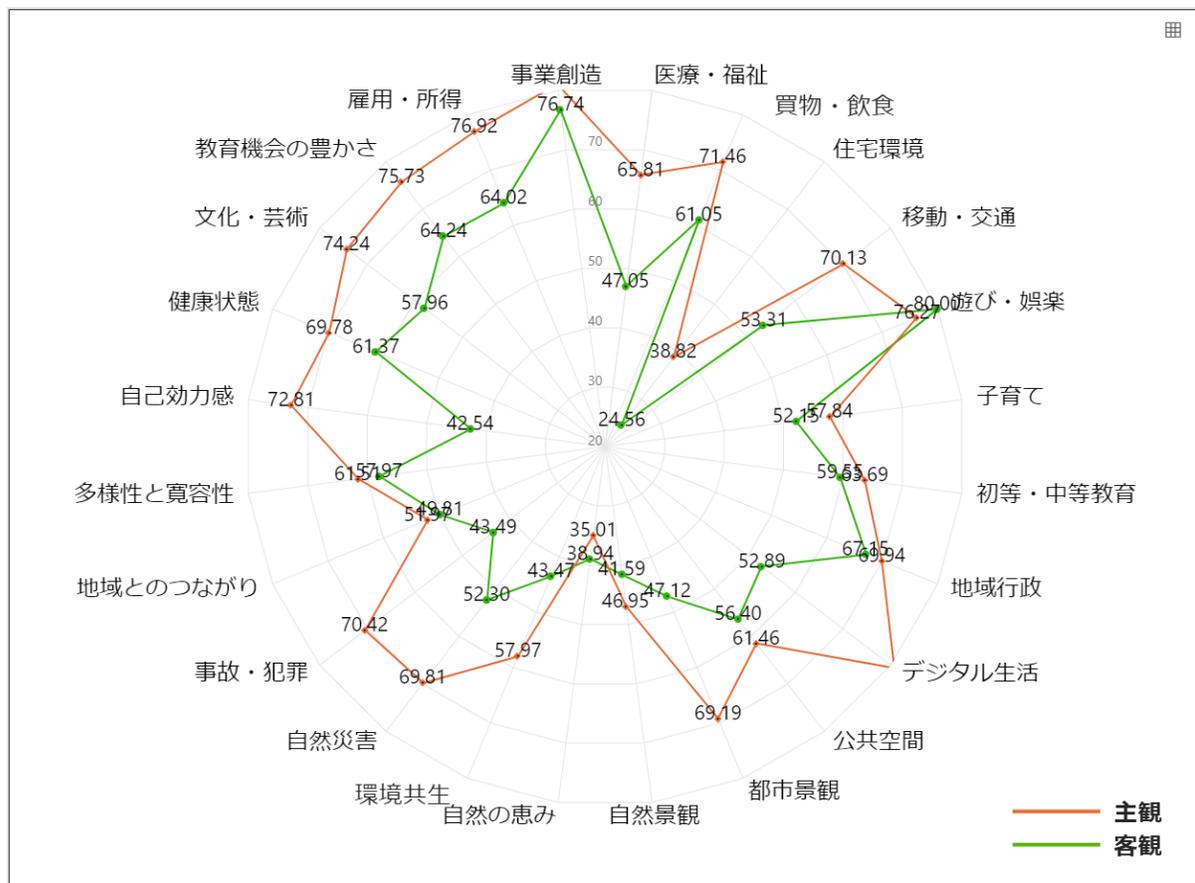


## 京都府

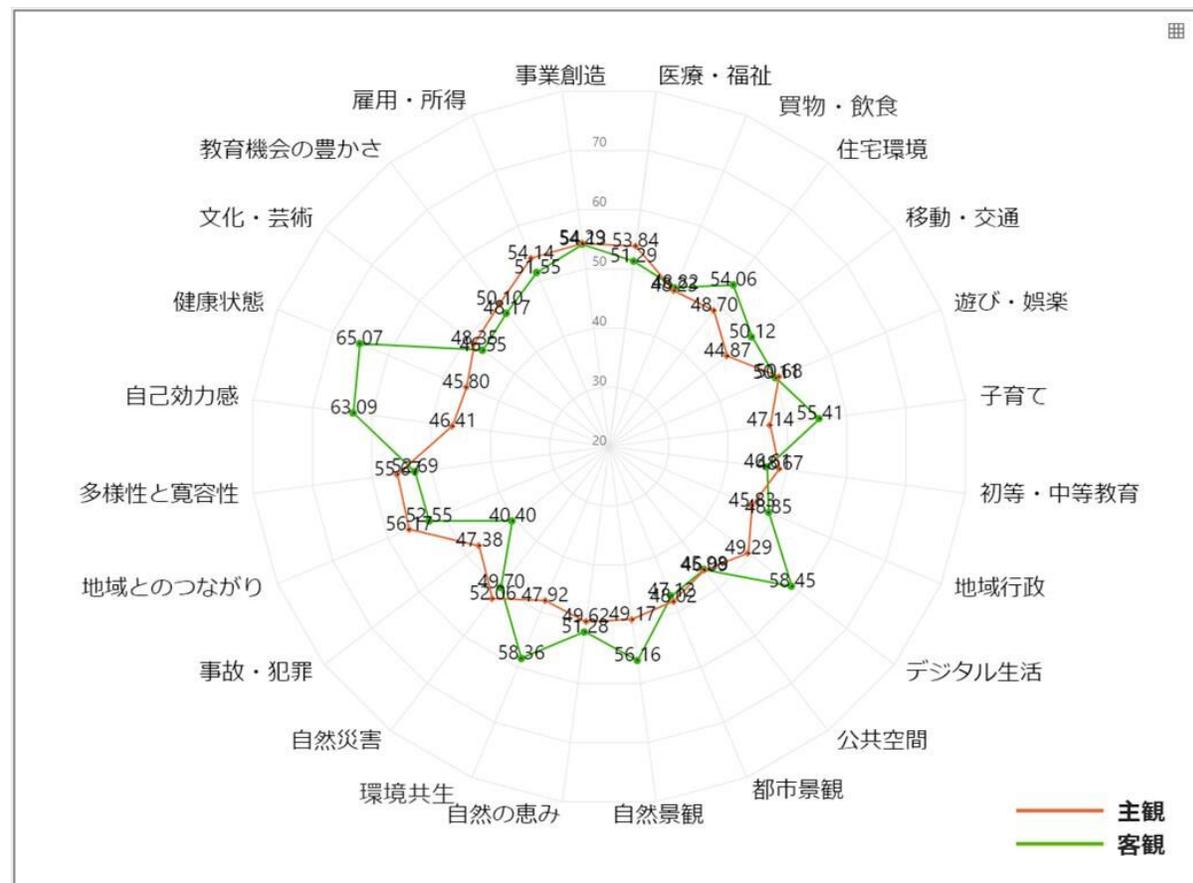


# 「因子別」のダッシュボード画面 ～ 地域による個性がわかる

## 渋谷区

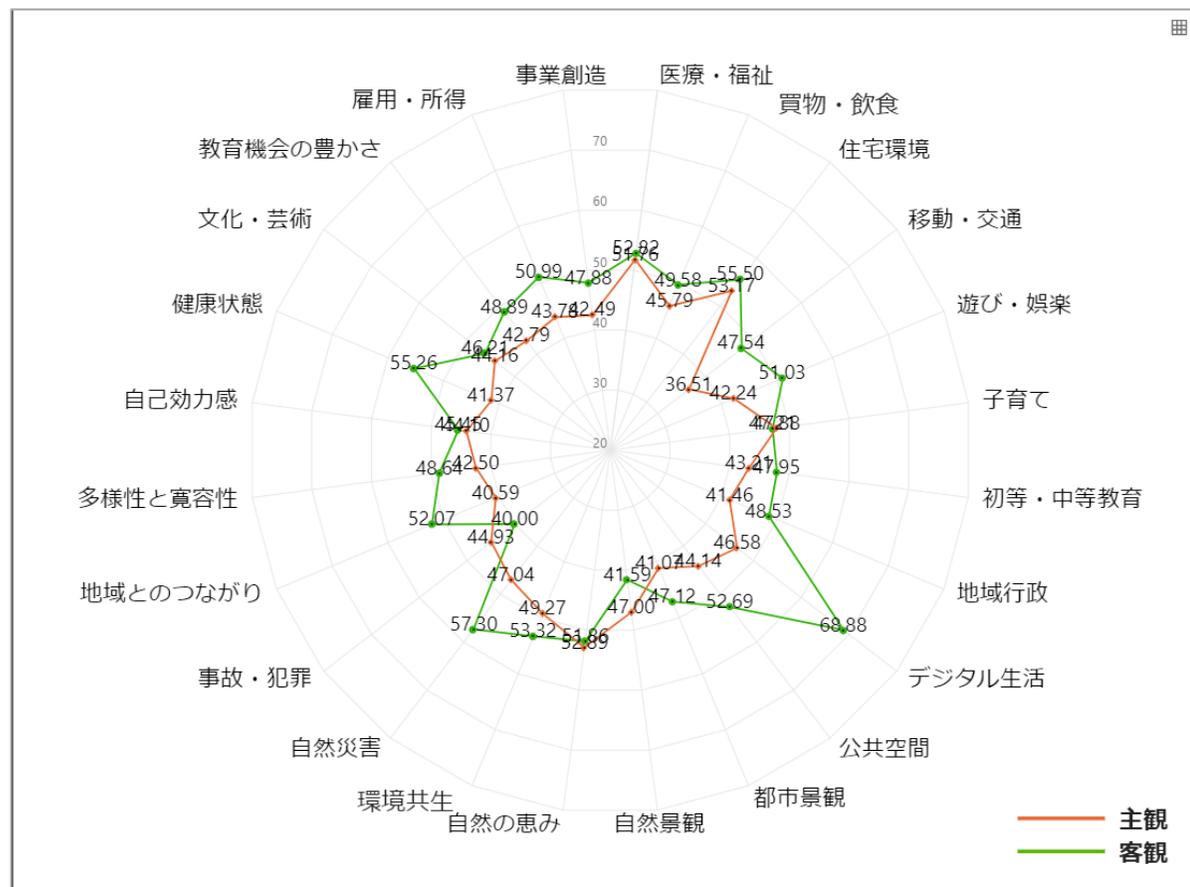


## 浜松市

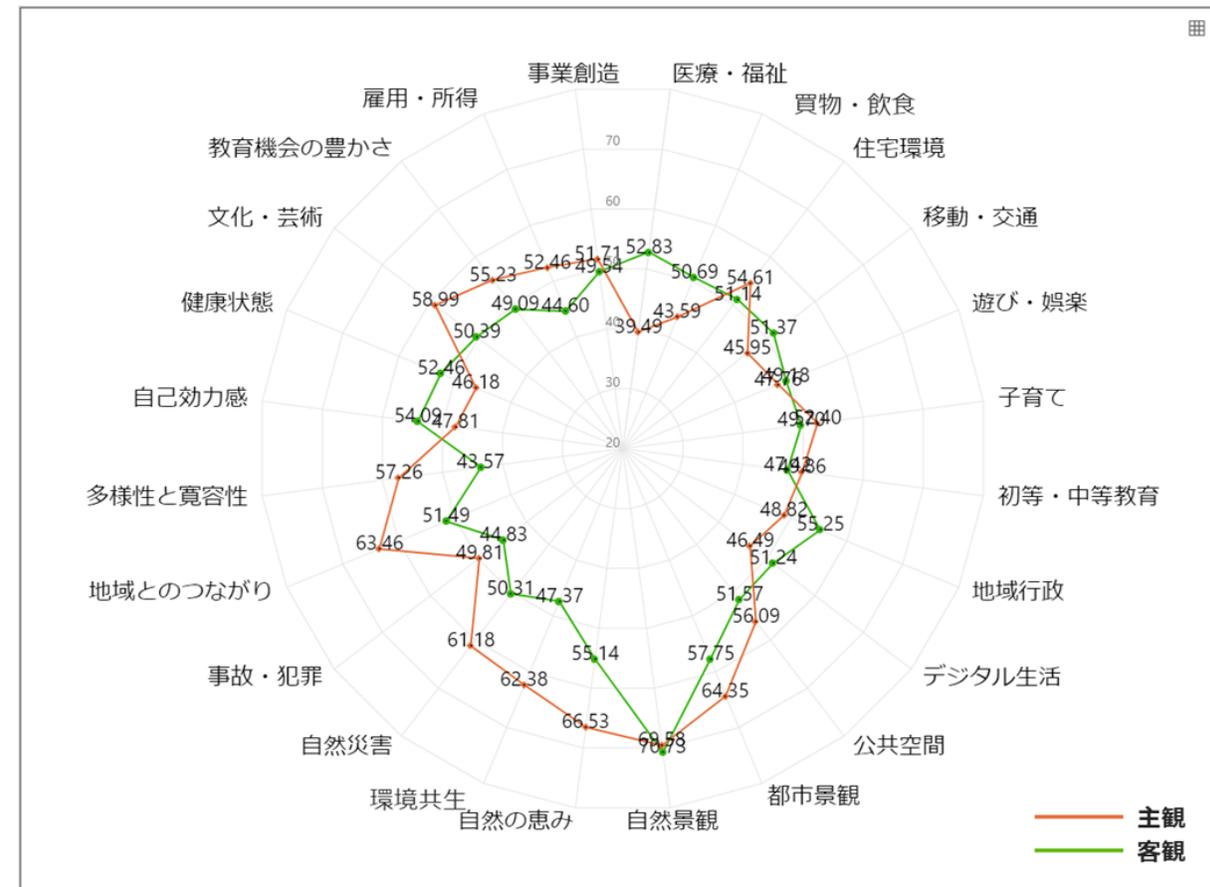


# 「因子別」のダッシュボード画面 ～ 地域による個性がわかる

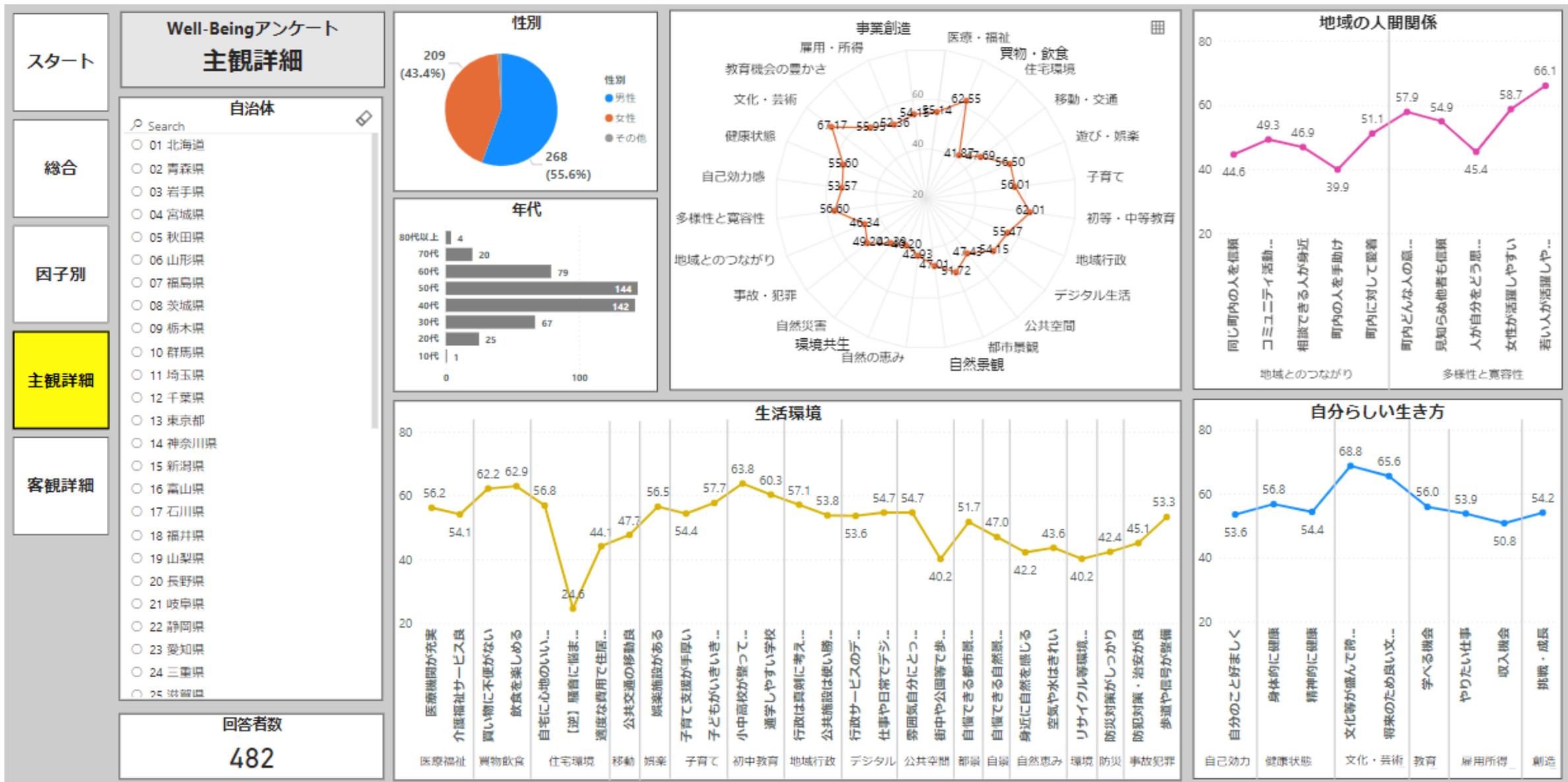
## 前橋市



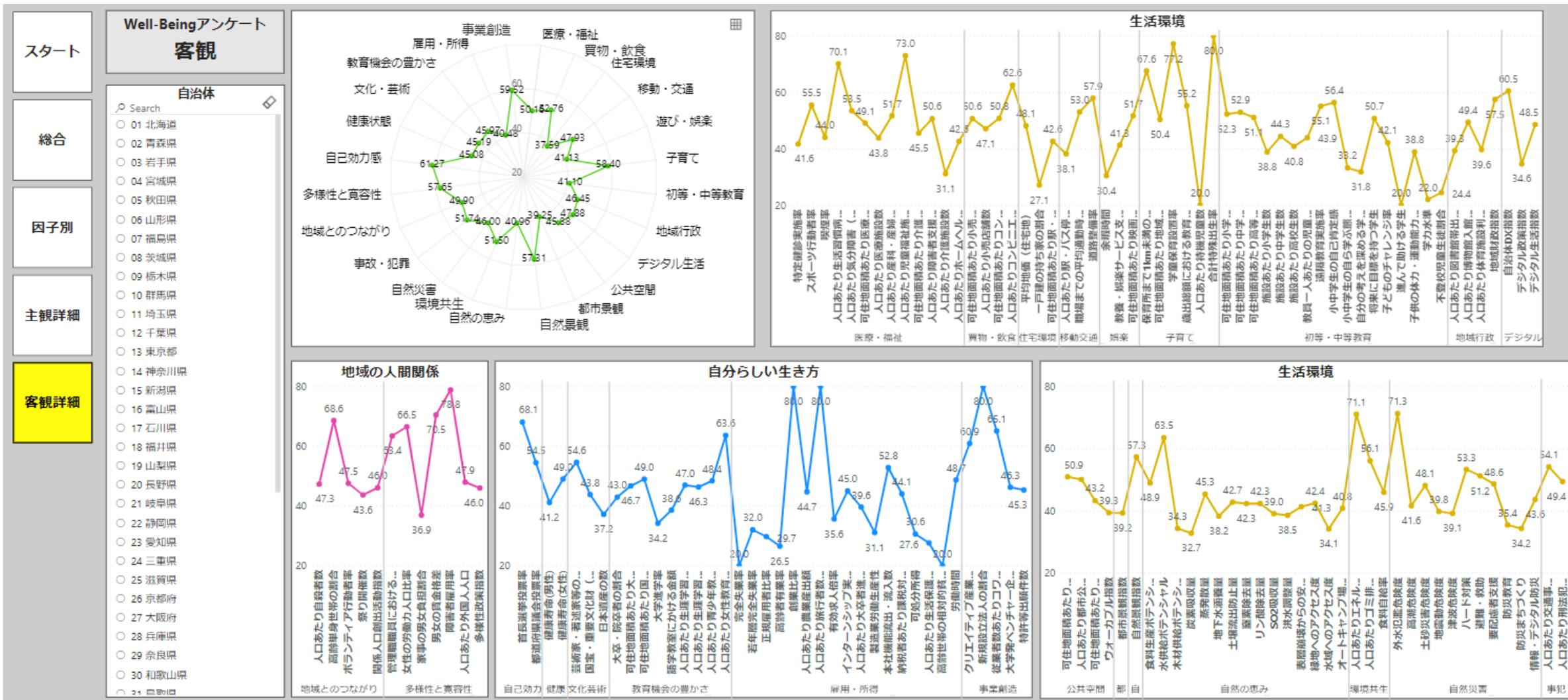
## 三島市



# 「主観詳細」のダッシュボードの画面

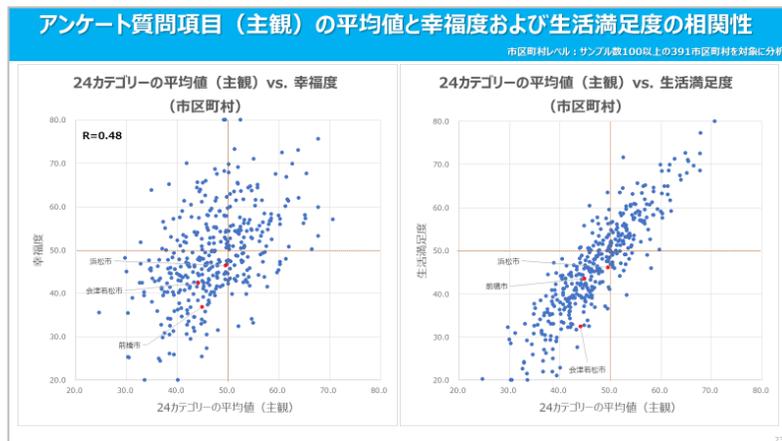


# 「客観詳細」のダッシュボードの画面

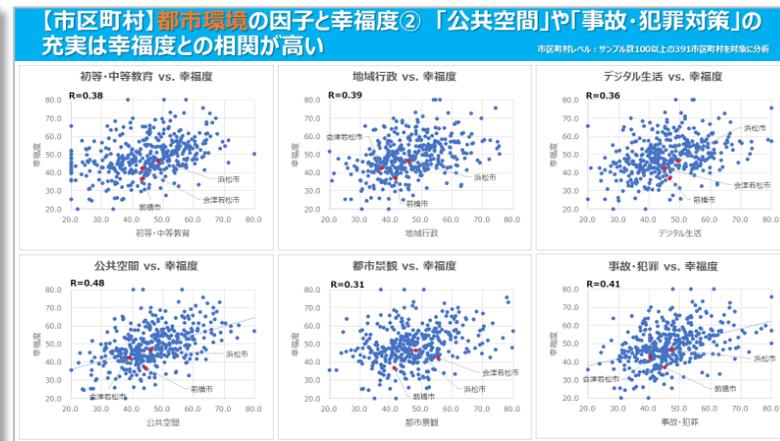
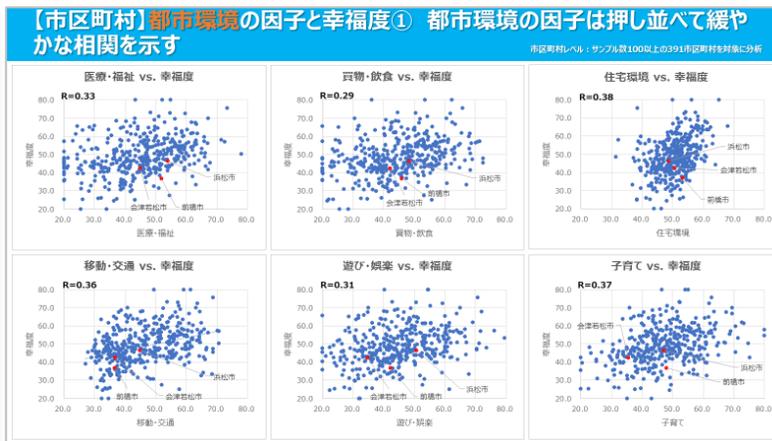


# 幸福度や生活満足度と24の因子（アンケートカテゴリー）の相関分析等から、幸福度や生活満足度に関係性の深い因子の確認を実施

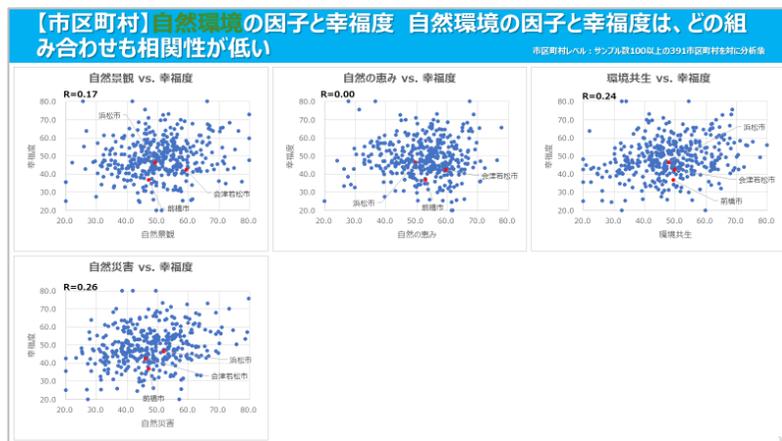
## 【幸福度・生活満足度と24因子の相関性】



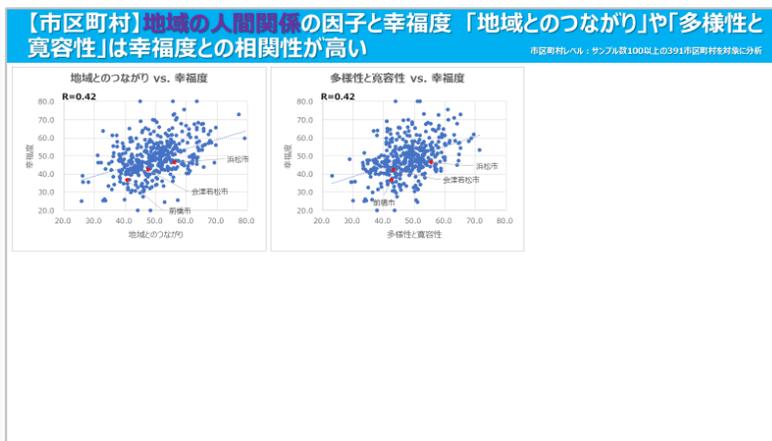
## 【幸福度と都市環境の因子の相関性】



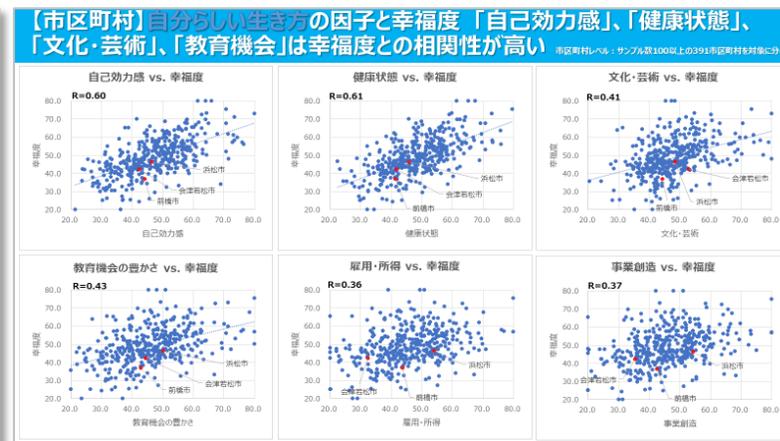
## 【幸福度と自然環境の因子の相関性】



## 【幸福度と地域の人間関係の因子の相関性】



## 【幸福度と自分らしい生き方の因子の相関性】



## 【ウェルビーイングの概念や指標・利活用プロセスについてのテキスト】

Ver.2023-01

# 地域幸福度(Well-Being)指標 利活用ガイドブック

2023年6月

デジタル庁  
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート

本指標は、デジタル田園都市国家構想の実現に向け、活用することを目的としています。自治体間の優劣の比較やランキング付けなど、目的外での利用は厳に慎んで下さい。

### 地域幸福度(Well-Being)指標利活用ガイドブック 目次

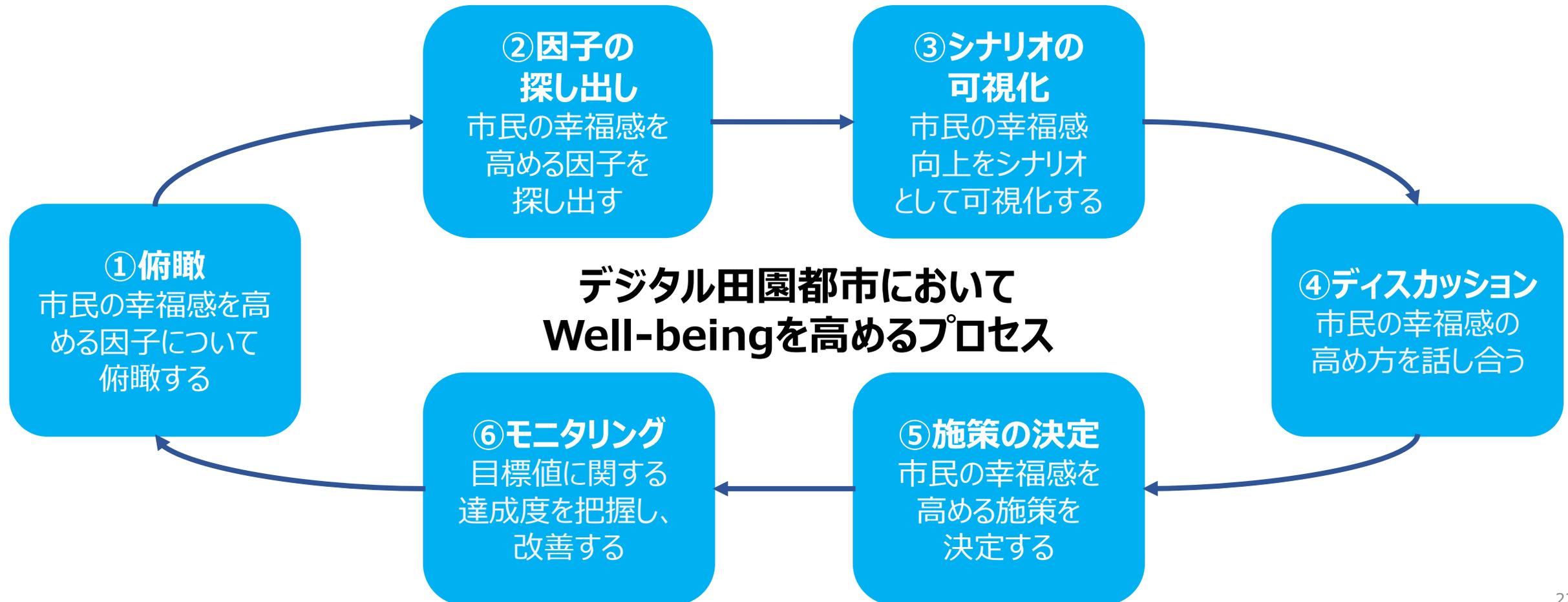
- 1. デジタル田園都市国家構想におけるWell-beingとは
  - [デジタル田園都市国家構想で目指すもの](#)
  - [市民のWell-being向上に向けた指標の活用](#)
- 2. 地域幸福度(Well-Being)指標の考え方について
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の開発起点と狙い](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の基本概念](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の導入目的](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の構成](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標を活用したスマートシティのロジックモデル](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の全体構成図](#)
  - [地域における幸福度・生活満足度を、まちに関する主観・客観評価から俯瞰する](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の因子群とカテゴリー](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標 ～ 偏差値](#)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標 ～ アンケート調査](#)
  - [主観指標のカatalog<市区町村版・都道府県版 共通>](#)
  - [主観指標のアンケート調査設問一覧](#)
  - [暮らしやすさ客観指標のカatalog<都道府県版>](#)
  - [暮らしやすさ客観指標のカatalog<市区町村版>](#)
- 3. 地域幸福度(Well-Being)指標活用の手順 (フロー)
  - [地域幸福度\(Well-Being\)指標活用の手順 \(フロー\)](#)
- 4. 参考となるユースケース
  - ①市民の幸福感を高める因子について俯瞰する
  - ②市民の幸福感を高める因子を探し出す
  - ③市民の幸福感向上をシナリオとして可視化する
  - ④市民の幸福感の高め方を話し合う
  - ⑤市民の幸福感を高める施策を決定する
  - ⑥モニタリング・発展させる
- 4. 参考となるユースケース
  - 事例① 浜松市
  - 事例② 会津若松市
  - 事例③ 加古川市
  - 事例④ 非営利活動法人ADDS
  - 事例⑤ 株式会社カヤック
  - 事例⑥ 広域自治体
  - 事例⑦ 東京海上日動火災保険株式会社
- Appendix
  - [KPIの定義書・出典元](#)
  - [比較対象自治体の導出方法](#)
  - [市民意識調査を併用した、LWC指標事例](#)
  - [LWC指標からの改定経緯](#)

問い合わせ先

2

# ガイドブックで、地域幸福度(Well-Being)指標活用の手順等を説明

- まず、データを基に市民の幸福の因子を探索します。市民を軸に置き、幸福の因子に関連する施策や効果等を整理し、シナリオとして可視化することで、これまで見えてこなかった課題やニーズを把握できます。次に、対話を基に施策に関する多数のアイデアを出し、その施策を評価するための指標を設定します。



# 地域幸福度指標の活用を推進する為には、庁舎内の関係者の理解を得ることが重要

浜松市

## ■ 浜松市では地域幸福度指標を活用したワークショップ・勉強会を複数回開催しました。

2022/5月 南雲フェローを講師に招き、地域幸福度指標の活用に関する勉強会を開催。LWC指標を俯瞰し、因子の関係性を議論。

2022/6月～ 関係課職員による庁内ワークショップを複数回開催。

2022/7月～ 地域幸福度指標の市政への活用について、鈴木市長が講演（SCI-Japan フォーラム@日経ホール、ウェルビーイング連続フォーラム@京都大学）。

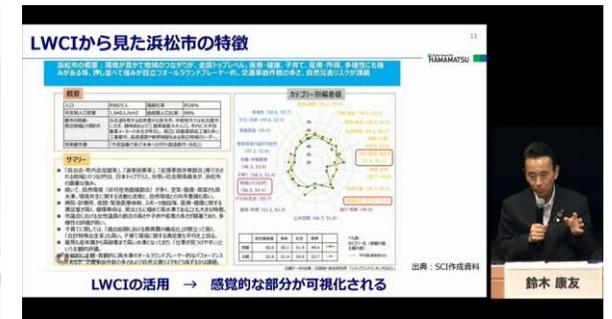
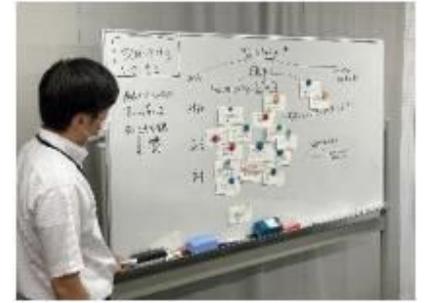
2022/9月 浜松市独自アンケートを実施（1,805サンプル回収）。

2022/10月 Code for Japanの協力の下、官民連携PFの会員とDecidimを活用したワークショップを実施。グループワークで、幸せの物語を作成。

2022/12月 関係課職員による庁内ワークショップを複数回開催。先行4分野における幸福のシナリオ作成に着手。

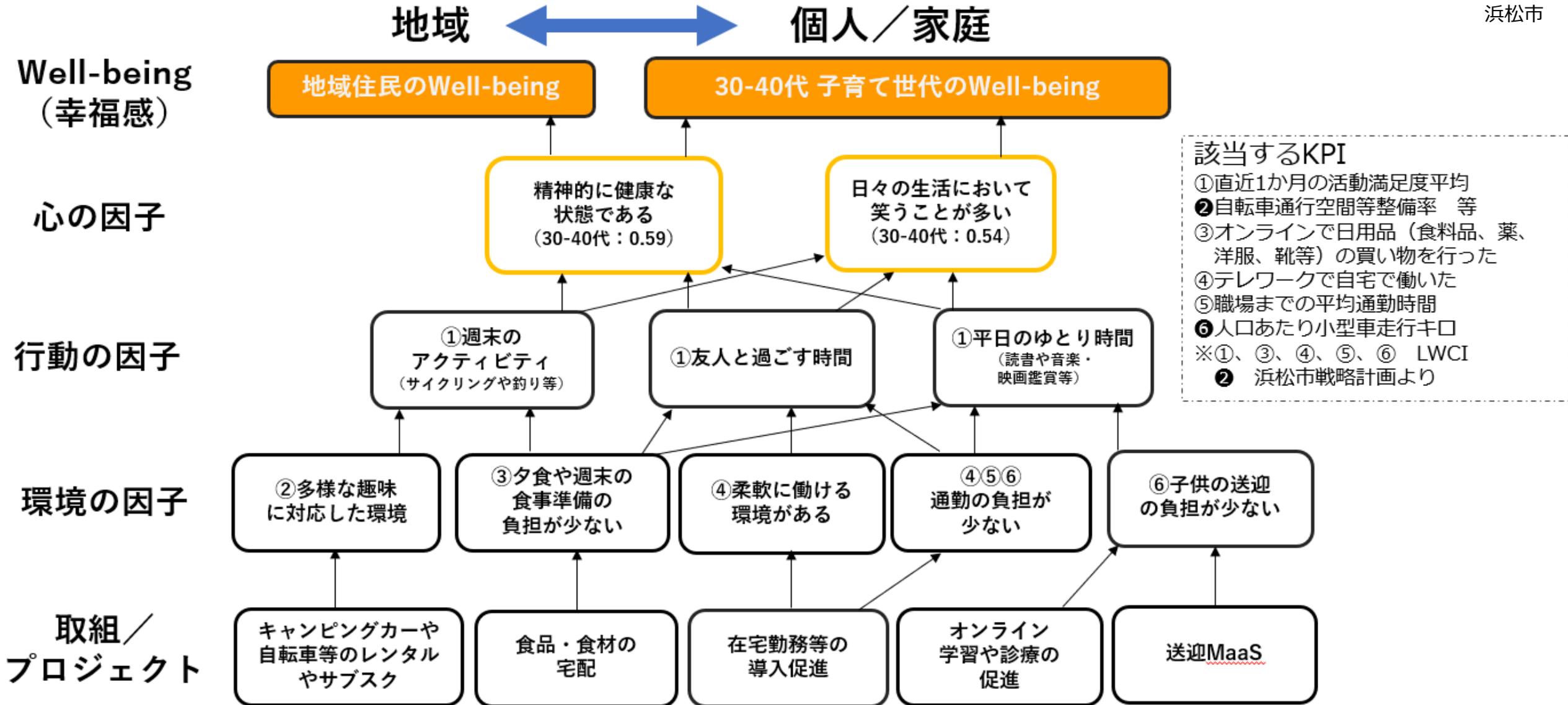
2023/2月 幸福のシナリオの作成状況に関する中間報告。先行4分野のシナリオの複数案が提示され、されに関係者で議論を重ねる。

2023/3月 Decidimにて地域幸福度指標活用の取組や、幸福のシナリオを公開。



# 市民像を30-40代 子育て世代、主テーマを自分時間の確保としたシナリオ例

浜松市



# 福島県会津若松市のケース ～ ウェルビーイング指標を活用したワークショップで、ステークホルダーと地域の個性を確認し合う

会津若松市



ワーク風景（食農グループ）



ワーク風景（ヘルスケアグループ）



会場風景



サービス紹介



サービス紹介



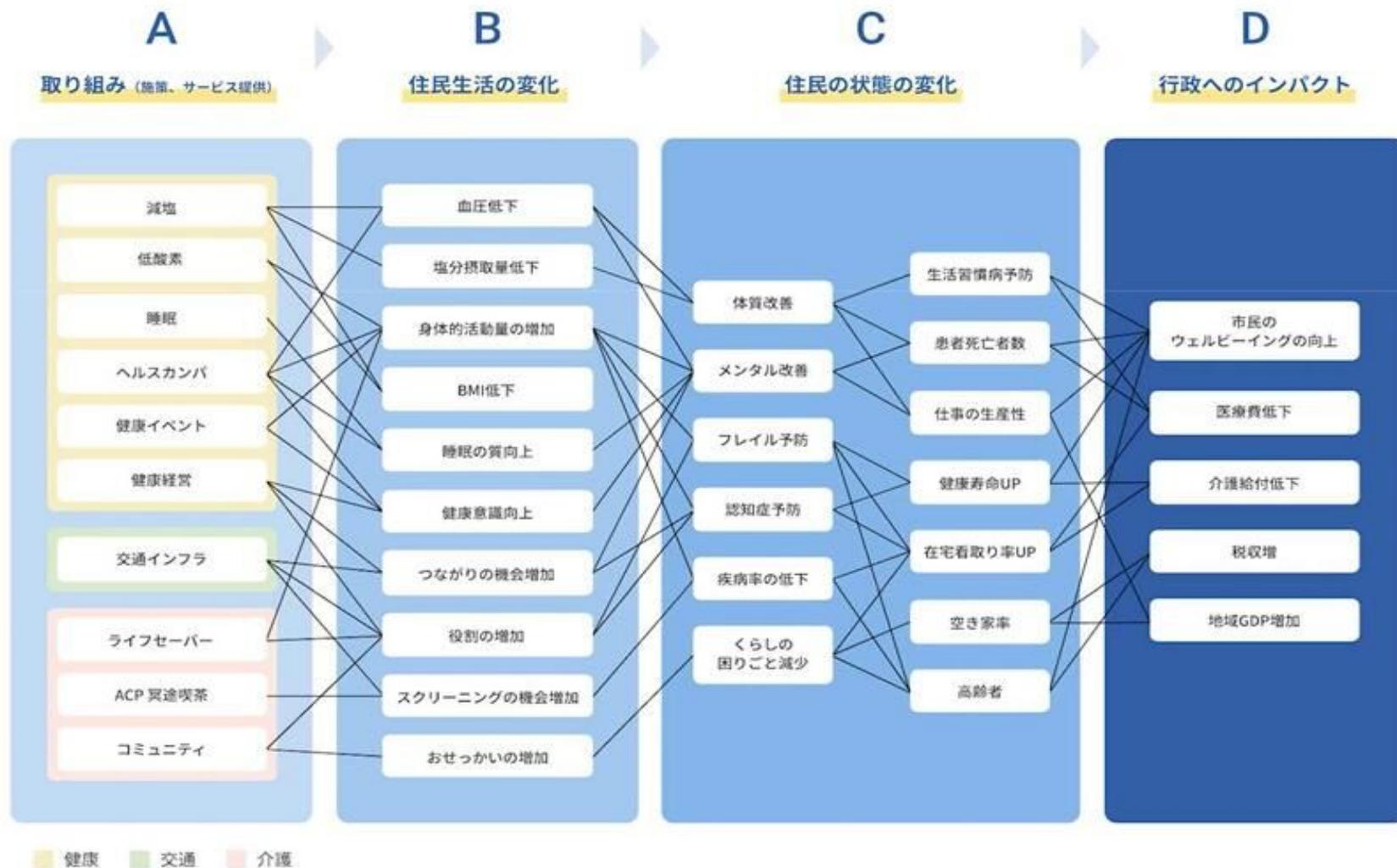
発表

出典：会津若松市及び（一社）AiCTコンソーシアムご提供資料

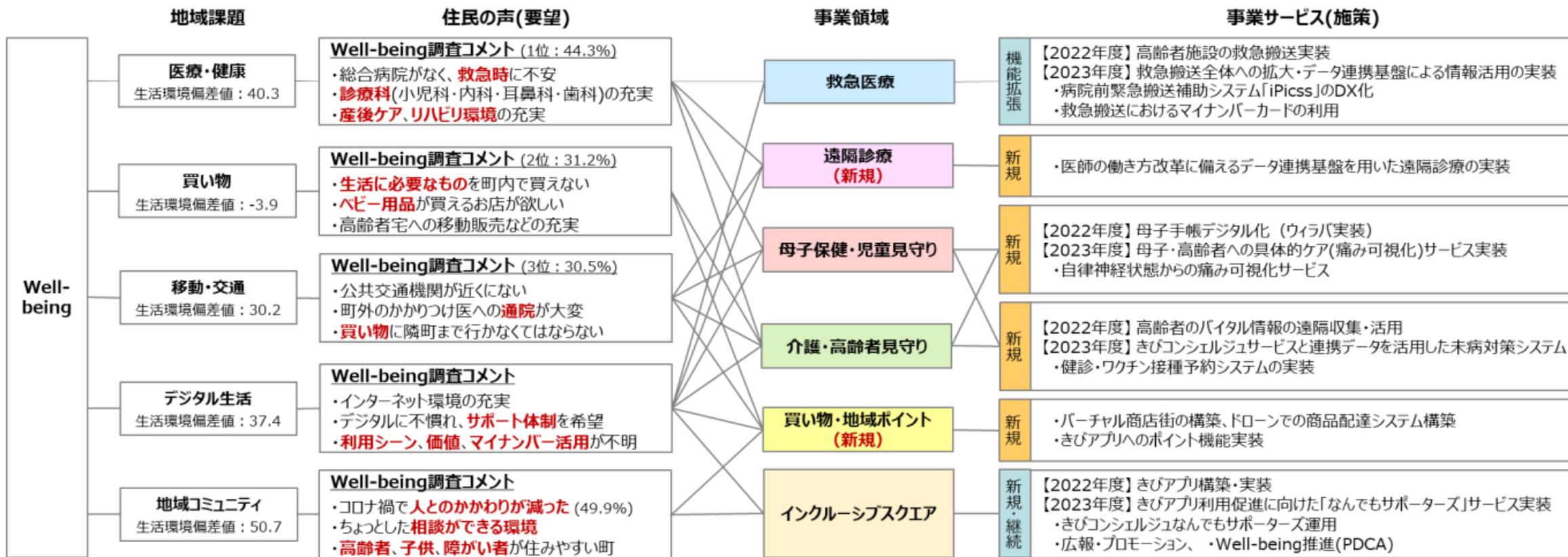


# 香川県三豊市のケース ～ ロジックツリーの作成

ロジックツリーを作成し、市民のWell-being向上のために必要な「取組み」と「効果」を可視化



## Well-beingの調査結果から来年度事業の施策を討議・決定



※生活環境偏差値：Well-Being指標に基づき、オープンデータから地域の生活環境を偏差値で表したものと



# 群馬県前橋市のケース ～ コンセプトをポスター形式で可視化



# 本資料のご活用に向けて

- 本資料は、信頼できると思われる各種公開情報・オープンデータ等に基づいて作成されていますが、当法人はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に基づくご利用者様の決定、行為、及びその結果について、当法人は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、ご利用者様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュートと明記してください。